

令和 7 年 11 月 12 日

市郡地区医師会長 様

一般社団法人 広島県医師会
会長 松村 誠

令和 7 年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会に向けての
アンケートについて（協力依頼）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、本会会務および諸事業の推進につきましては、格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

このたび、日本医師会より「別添 1」のとおり、令和 8 年 1 月 30 日（金）に開催を予定されております「令和 7 年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会」に向けて、会議の議論を深めるため各地の状況を把握することを目的に、都道府県医師会ならびに市郡地区医師会へのアンケートの協力依頼がございました。

つきましては、以下 URL の回答フォームよりご回答をいただき、本アンケートにご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご回答は任意となっておりますが、アンケートの趣旨をご理解の上、よろしくご高配賜りますようお願い申し上げます。

また、令和 7 年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会につきましては、「別添 2」のご案内のとおり、日本医師会館と都道府県医師会館をオンライン形式で結んだ Web 会議での開催であり、広島県医師会館にてご参加が可能な市郡地区医師会学校保健担当役員ならびに学校保健に関心のある方もオブザーバー参加が可能となっております。

つきましては、貴会で同協議会へのオブザーバー参加をご希望の役員等がいらっしゃいましたら、本会にて出席者登録を行いますので、参加者の①氏名、②ご所属、③役職について、令和 8 年 1 月 6 日（火）までに広島県医師会地域医療課(chiiki@hiroshima.med.or.jp)までメールにてご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

職務ご多端の折誠に恐縮に存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

記

<アンケート>

【回答フォーム URL】 郡市区医師会用：<https://forms.gle/KBzK1AmtW8JfYQ8r8>

【回答期限】 令和 7 年 12 月 19 日（金）

<令和 7 年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会>

日 時：令和 8 年 1 月 30 日（金）14 時～16 時

対 象：オブザーバーとして都道府県医師会館にて参加できる

市郡地区医師会学校保健担当役員、学校保健に関心のある方 等

場 所：広島県医師会館 201 会議室（日本医師会館と県医師会館を結んでの WEB 会議）

※本協議会に関しては、単位の付与や日当・旅費支給はございません。

以上

広島県医師会 地域医療課 中島
〒732-0057 広島市東区二葉の里 3-2-3
TEL 082-568-1511 FAX 082-568-2112
e-mail : chiiki@hiroshima.med.or.jp

日医発第1300号(健Ⅰ)

令和7年11月7日

都道府県医師会 学校保健担当理事 殿

日本医師会 常任理事

渡辺弘司

(公印省略)

令和7年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会に向けての
アンケートについて（協力依頼）

平素より本会会務の運営に特段のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和7年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会については令和7年11月7日付文書 日医発1301号(健Ⅰ)でご案内したところです。本会としては会議の議論を深めるために、各地の状況を把握したいと考えており、今般、貴会ならびに貴会管下の医師会に対しまして、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多用のところ大変恐縮ですが、貴会におかれましては下記回答フォームへのご回答をお願いいたします。また、貴会管下の郡市区等医師会へも下記の回答フォームをご周知いただき、任意で構いませんのでアンケートへご回答いただきますようご案内ください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【アンケート回答方法】

令和7年12月19日(金)までに、下記の回答フォームにご回答いただきたく、お願い申し上げます。

記

【回答フォーム】

(必須) 都道府県医師会用: <https://forms.gle/LFwasFJ4XPHRrvr86>

(任意) 郡市区医師会用: <https://forms.gle/KBzKlAmtW8JfYQ8r8>

2139



見本です。回答フォームよりご回答をお願いいたします。

学校保健担当理事連絡協議会に向けたアンケート（都道府県医師会用）

* 必須の質問です

都道府県医師会 *

選択

アンケート回答者 部署 *

回答を入力

アンケート回答者 氏名（姓と名の間にスペース） *

回答を入力

アンケート回答者 メールアドレス *

回答を入力

アンケート回答者 電話番号(ハイフンなし) *

見
本

これは都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会に向けてのアンケートになります。可能な範囲でご回答いただけますと幸いです。貴会では基本的に都道府県立学校の状況を把握されていると思いますので、**都道府県立学校**の対応についてご回答ください。

（質問1）都道府県立学校における学校医と産業医の契約についてお聞きします。学校医の契約書と産業医の契約書（教職員の健診等）は同じ紙でしょうか。それとも別々になっていますでしょうか。 *

- ☐ 同じ契約書
- ☐ 別々の契約書
- ☐ その他: _____

「同じ契約書」とお答えいただいた都道府県

学校医と産業医の契約形態はどのようになっていますか。 *

- ☐ 学校医になったら自動的に産業医としても契約するようになっている
- ☐ 学校医と産業医は独立して契約するようになっている

（質問2）都道府県立学校における学校医の報酬の受領形態についてお聞きします。出務毎でしょうか。1年分の定額受領でしょうか。また、できでしたら、その額もご記入ください。 *

- ☐ 出務毎に受領
- ☐ 1年分を定額で受領
- ☐ その他: _____

「出務毎に受領」とご回答いただいた都道府県

金額がお分かりであればご記入ください。

回答を入力

「1年分を定額で受領」とご回答いただいた都道府県

金額がお分かりであればご記入ください。

回答を入力

（質問3）文部科学省は、「学校医、学校歯科医師及び学校薬剤師の配置について」という通知（平成28年3月31日事務連絡）において、「学校医等の確保が困難な場合には医療機関等への委託によって学校医等の職務の代替とするなど、いかなる場合も保健管理が滞りなく行われるよう適切に対応する」としています。健康診断をはじめとした学校医の業務について、教育委員会や学校が医師個人ではなく医療施設（機関）と委託契約している例がありますか。 *

☐ ある

☐ ない

☐ その他:

（質問4）貴会の所属する都道府県立学校における、機器を用いた側弯症検診の導入状況についてお尋ねします。 *

☐ 既に導入している

☐ 導入していない

☐ その他:

質問4に「導入していない」とご回答いただいた都道府県

今後、機器による側弯症検診を導入する予定はありますか。 *

- ☐ 近々導入する予定がある
- ☐ 導入を検討中
- ☐ 導入の予定はない

（質問5）都道府県立単位の学校健診の結果を貴会として把握できるか否かについてお尋ねします。 *

- ☐ 把握している
- ☐ 把握していない
- ☐ その他: _____

（質問6）学校健診に関して、日本医師会から文部科学省へ伝えてほしいこと等がございましたら自由にお書きください。

回答を入力

（質問7）最後に、学校健診に関して日本医師会への要望がございましたら自由にお書きください。

回答を入力

見本です。質問内容は都道府県医師会用と同様です。

学校保健担当理事連絡協議会に向けたアンケート（郡市区医師会用）

* 必須の質問です

都道府県名 *

選択

郡市区医師会名 *

回答を入力

アンケート回答者 氏名（姓と名の間にスペース） *

回答を入力

アンケート回答者 メールアドレス *

回答を入力

アンケート回答者 電話番号(ハイフンなし) *

見
本

これは都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会に向けてのアンケートです。可能な範囲でご回答いただけますと大変ありがたく存じます。

（質問1）自治体単位の学校における学校医と産業医の契約についてお聞きします。学校医の契約書と産業医の契約書（教職員の健診等）は同じ紙でしょうか。それとも別々になっていますでしょうか。 *

- ☐ 同じ契約書
- ☐ 別々の契約書
- ☐ その他: _____

「同じ契約書」とお答えいただいた医師会

学校医と産業医の契約形態はどのようになっていますか。 *

- ☐ 学校医になったら自動的に産業医としても契約するようになっている
- ☐ 学校医と産業医は独立して契約するようになっている

（質問2）自治体単位における学校医の報酬の受領形態についてお聞きします。 *
出務毎の受領でしょうか。1年分の定額受領でしょうか。また、できでしたら、その額もご記入ください。

- ☐ 出務毎に受領
- ☐ 1年分を定額で受領
- ☐ その他: _____

「出務毎に受領」とご回答いただいた医師会

金額がお分かりであればご記入ください。

回答を入力

「1年分を定額で受領」とご回答いただいた医師会

金額がお分かりであればご記入ください。

回答を入力

(質問3) 文部科学省は、「学校医、学校歯科医師及び学校薬剤師の配置について」という通知(平成28年3月31日事務連絡)において、「学校医等の確保が困難な場合には医療機関等への委託によって学校医等の職務の代替とするなど、いかなる場合も保健管理が滞りなく行われるよう適切に対応する」としています。健康診断をはじめとした学校医の業務について、教育委員会や学校が医師個人ではなく医療施設(機関)と委託契約している例がありますか。 *

☐ ある

☐ ない

☐ その他:

(質問4) 貴会の管轄下の自治体立の学校における、機器を用いた側弯症検診の導入状況についてお尋ねします。 *

☐ 既に導入している

☐ 導入していない

☐ その他:

質問4に「導入していない」とご回答いただいた医師会

今後、機器による側弯症検診を導入する予定はありますか。 *

- ☐ 近々導入する予定がある
- ☐ 導入を検討中
- ☐ 導入の予定はない

（質問5）貴会の管轄下の自治体立の学校の学校健診の結果を貴会として把握できるか否かについてお尋ねします。

自治体単位の学校健診の結果について *

- ☐ 把握している
- ☐ 把握していない
- ☐ その他: _____

（質問6）学校健診に関して、日本医師会から文部科学省へ伝えてほしいこと等がございましたら自由にお書きください。

回答を入力

（質問7）最後に、学校健診に関して日本医師会への要望がございましたら自由にお書きください。

回答を入力



別添 2

日医発第1301号(健Ⅰ)

令和7年11月7日

都道府県医師会長 殿

日本医師会
会長 松本吉郎
(公印省略)

令和7年度都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会の開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素、学校保健活動推進のために種々ご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて本会では、学校健診に関する課題を情報共有することを目的として、標記協議会を別添開催要領のとおり、令和8年1月30日(金)に開催することといたしました。

つきましては、本協議会の趣旨をご理解賜わり、貴会で学校保健を担当されている役員のご出席をいただきたく、貴職の特段のご高配をお願い申し上げます。

また、本協議会は各都道府県医師会館と日医会館をオンライン形式で結んだWeb会議での開催とさせていただきます(注:本協議会に関しては、単位の付与、交通費の支給はございません)。業務ご多端のところお手数ですが、出席者登録(Web担当者、オブザーバを含め、都道府県単位で登録)について令和8年1月9日(金)までに「Googleフォーム」にご入力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本協議会に向けたアンケートを行う予定です。別途ご協力のお願いをさせていただきますので、その際はどうぞよろしくお願い申し上げます。

(出席者登録URL) <https://forms.gle/WdDUTPU6LCurvpCdA>

※ 接続先についてはWeb担当者宛に事前にお知らせします。また、資料は会議前日までに日本医師会文書管理システム「お知らせ」に掲載する予定です。

【本件担当】

日本医師会 健康医療第一課(高野、森川)

電話 : 03-3942-6138

Email : gakuho@po.med.or.jp

都道府県医師会
学校保健担当理事連絡協議会
開催要領

1. 趣 旨

学校保健分野の諸課題について、日本医師会は都道府県医師会と密接に連携し対応していきたいと考えている。

今回の協議会では、令和5年度に引き続き、学校における健康診断に関する問題に焦点を当て、都道府県医師会学校保健担当理事間で連携をはかるとともに最新の情報を共有する。

2. 日 時：令和8年1月30日（金）14時～16時

3. 場 所：日本医師会館および都道府県医師会館（Web会議）

4. 参加者：都道府県医師会学校保健担当理事

およびオブザーバとして都道府県医師会館にて参加できる

郡市区医師会学校保健担当役員、学校保健に関心のある方 等

5. プログラム（別紙）

都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会 次 第

テーマ「続・学校における健康診断」

日時：令和8年1月30日（金）14：00～16：00

場所：日本医師会館および都道府県医師会館

（Web 会議）（日本医師会館 503 会議室より配信）

座長 学校保健委員会 委員長 加藤智栄

1. 開会挨拶 日本医師会 会長 松本吉郎

2. 議事

① 「学校における持続可能な保健管理の在り方に関する調査検討会」について
（講師：文部科学省 健康教育・食育課）

② 日本医師会「学校保健委員会」答申の方向性

学校健診WG （講師：東京都医師会 理事 弘瀬 知江子）

メンタルヘルス WG （講師：明治学院大学 教授 小林 潤一郎）

③ 機器を用いた側弯症検診の現状

（講師：日本臨床整形外科学会顧問 新井貞男）

④ 鹿児島県における重点的健診の方向性

（講師：鹿児島県医師会 常任理事 立元千帆）

3. 閉会挨拶 日本医師会 副会長 茂松茂人

※プログラムは当日までに変更される可能性があります